



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月9日

上場会社名 株式会社 ソトー

上場取引所 東名

コード番号 3571 URL <https://www.sotoh.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 上田 康彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 小澤 活人

TEL 0586-45-1121

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

2022年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	5,170	30.0	159		92		234	
2022年3月期第2四半期	3,975		72		4		10	

(注)包括利益 2023年3月期第2四半期 62百万円 (%) 2022年3月期第2四半期 24百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	18.44	
2022年3月期第2四半期	0.86	

(注)2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値は当該会計基準等を適用した後の金額となっていることから、増減率は記載してありません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	14,727	11,067	75.2
2022年3月期	14,713	11,283	76.7

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 11,067百万円 2022年3月期 11,283百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		12.00		12.00	24.00
2023年3月期		11.00			
2023年3月期(予想)				11.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	26.5	0		120		200		15.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	13,933,757 株	2022年3月期	13,933,757 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,207,263 株	2022年3月期	1,207,165 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	12,726,527 株	2022年3月期2Q	12,726,672 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動規制が緩和され、経済活動が正常化に向かう動きが見受けられましたが、ロシアによるウクライナ侵攻によって資源やエネルギー価格の高騰に拍車がかかったことや米国との金利差により円安が急速に進んだこと等による物価上昇に伴い、消費の落ち込みが懸念されており、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

繊維産業におきましては、新型コロナウイルス感染症による行動規制が緩和されたこと等により、百貨店等での衣料販売が回復し明るい兆しが見えておりますが、エネルギーや原材料の高騰に加えて物流コストの値上がりや中国のゼロコロナ政策により製品や原材料の遅延が懸念されるなど、業界を取り巻く環境は依然厳しい状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループは、優れた感性と技術で新しい「価値」を創造し、市場領域の拡大とグローバル展開を図り、安定的・持続的成長の実現を目指しております。また、「地球は着替えることができないから」を当社の環境理念として環境負荷低減活動に取り組むとともに、地域社会やステークホルダーとの共存共栄を図るなど、SDGs活動を積極的に進めてまいります。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高51億7千万円（前年同期比30.0%増）、営業損失1億5千9百万円（前年同期は営業損失7千2百万円）、経常損失9千2百万円（前年同期は経常利益4百万円）、投資有価証券評価損1億8百万円の計上等により、親会社株主に帰属する四半期純損失2億3千4百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1千万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(染色加工事業)

昨年度の秋冬物の販売時期において新型コロナウイルス感染症が一時的に収束に向かったことや気温が比較的低かったことにより、コートを中心に秋冬物の販売が上向いて織物の受注が好調であったことから、織物が17億3千7百万円（前年同期比28.5%増）、ニットが14億1百万円（前年同期比8.1%増）となり、売上高31億3千9百万円（前年同期比18.5%増）、営業損益につきましては、現在、加工料金の是正をお願いしておりますが、燃料及び原材料の高騰の影響が想定以上に大きいことや工場移設に伴う営業費用が増加したこと、また当第2四半期におきまして資産除去債務についての会計上の見積りの変更を行ったこと等により、営業損失3億1千9百万円（前年同期は営業損失1億8千4百万円）となりました。

(テキスタイル事業)

秋冬物が比較的順調に受注出来ていることに加えて、新たに取り入れた合繊織物の販売がプラスとなったことや輸出が好調なこと等により、売上高18億8千3百万円（前年同期比61.4%増）、営業利益7千1百万円（前年同期は営業利益3百万円）となりました。

(不動産事業)

群馬県伊勢崎市の土地・店舗の賃貸契約が前第1四半期連結会計期間の途中で終了となった影響等により、売上高1億4千7百万円（前年同期比8.0%減）、営業利益につきましては、売上高の減少に加えて同物件の維持管理費の継続等により8千8百万円（前年同期比19.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間の資産は、前連結会計年度に比べ1千4百万円増加し、147億2千7百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が13億1千9百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が7億4千8百万円増加、建設仮勘定が2億6千6百万円増加、有価証券が2億5千5百万円増加したことであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度に比べ2億2千9百万円増加し、36億5千9百万円となりました。主な要因は、工場移転費用引当金が2億3千6百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が1億4千万円増加、資産除去債務が7千5百万円増加、繰延税金負債が3千4百万円増加したことであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度に比べ2億1千5百万円減少し、110億6千7百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失2億3千4百万円を計上したこと及び配当金の支払1億5千2百万円により利益剰余金が3億8千7百万円減少したことであります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、6億3千8百万円の減少(前年同期は9千8百万円の増加)となりました。主な増加要因は、減価償却費3億3百万円、仕入債務の増加1億4千万円であり、主な減少要因は、売上債権の増加7億4千8百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、5億5千3百万円の減少(前年同期は1千3百万円の増加)となりました。主な増加要因は、投資有価証券の売却及び償還による収入7百万円であり、主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出5億6千5百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億2千7百万円の減少(前年同期は1億7千1百万円の減少)となりました。主な減少要因は、配当金の支払額1億5千3百万円であります。

この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高は、前連結会計年度と比べ13億1千9百万円減少し、10億1千5百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しにつきましては、2022年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,338,573	1,018,841
受取手形及び売掛金	1,566,418	2,315,403
有価証券	407,188	662,559
完成品	302,734	399,654
仕掛品	446,021	424,012
原材料及び貯蔵品	309,660	279,033
その他	102,000	128,403
貸倒引当金	△5,480	△7,900
流動資産合計	5,467,117	5,220,008
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,176,345	1,223,501
機械装置及び運搬具(純額)	748,791	827,218
土地	1,928,153	1,928,153
建設仮勘定	255,517	521,976
その他(純額)	37,946	69,268
有形固定資産合計	4,146,754	4,570,117
無形固定資産		
その他	31,953	29,898
無形固定資産合計	31,953	29,898
投資その他の資産		
投資有価証券	4,162,069	4,012,162
退職給付に係る資産	520,592	526,549
繰延税金資産	160,034	153,166
その他	239,774	230,428
貸倒引当金	△15,090	△15,090
投資その他の資産合計	5,067,380	4,907,216
固定資産合計	9,246,088	9,507,232
資産合計	14,713,205	14,727,240

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	622,186	762,362
リース債務	8,251	8,251
未払法人税等	29,272	46,655
未払費用	201,093	228,553
工場移転費用引当金	550,373	314,050
その他	645,575	810,440
流動負債合計	2,056,753	2,170,312
固定負債		
長期借入金	130,000	160,000
リース債務	13,752	9,626
退職給付に係る負債	715,310	726,075
長期預り保証金	187,589	187,589
繰延税金負債	263,229	297,358
資産除去債務	63,300	108,640
固定負債合計	1,373,181	1,489,290
負債合計	3,429,935	3,659,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,124,199	3,124,199
資本剰余金	1,341,568	1,341,568
利益剰余金	7,809,177	7,421,821
自己株式	△1,362,395	△1,362,476
株主資本合計	10,912,551	10,525,113
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	313,331	468,296
退職給付に係る調整累計額	57,387	74,228
その他の包括利益累計額合計	370,719	542,524
純資産合計	11,283,270	11,067,637
負債純資産合計	14,713,205	14,727,240

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	3,975,982	5,170,680
売上原価	3,597,787	4,819,358
売上総利益	378,195	351,322
販売費及び一般管理費	450,210	511,163
営業損失(△)	△72,014	△159,840
営業外収益		
受取利息	16,123	7,244
受取配当金	46,080	49,419
為替差益	202	—
投資事業組合運用益	2,817	2,895
その他	12,712	12,544
営業外収益合計	77,936	72,104
営業外費用		
支払利息	771	956
為替差損	—	2,642
その他	335	675
営業外費用合計	1,106	4,274
経常利益又は経常損失(△)	4,814	△92,010
特別利益		
固定資産売却益	2,463	1,545
投資有価証券売却益	38,582	—
特別利益合計	41,046	1,545
特別損失		
固定資産処分損	590	1,910
投資有価証券評価損	—	108,605
工場移転費用	23,535	—
減損損失	1,579	—
その他	—	2,256
特別損失合計	25,705	112,772
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	20,155	△203,237
法人税等	9,183	31,399
四半期純利益又は四半期純損失(△)	10,971	△234,636
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	10,971	△234,636

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	10,971	△234,636
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,305	154,964
退職給付に係る調整額	△5,511	16,840
その他の包括利益合計	△35,817	171,805
四半期包括利益	△24,845	△62,831
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△24,845	△62,831

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	20,155	△203,237
減価償却費	275,796	303,411
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,345	2,420
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	16,031	15,931
受取利息及び受取配当金	△62,203	△56,664
支払利息	771	956
有形固定資産処分損益(△は益)	590	1,300
減損損失	1,579	—
工場移転費用	23,535	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△2,463	△1,545
投資有価証券売却損益(△は益)	△38,582	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	108,605
投資事業組合運用損益(△は益)	△2,817	△2,895
売上債権の増減額(△は増加)	△351,181	△748,985
棚卸資産の増減額(△は増加)	53,339	△44,285
仕入債務の増減額(△は減少)	27,646	140,175
未払費用の増減額(△は減少)	23,687	27,459
未払消費税等の増減額(△は減少)	98,133	20,518
その他	△24,417	△9,431
小計	53,254	△446,266
利息及び配当金の受取額	62,986	57,420
利息の支払額	△771	△956
工場移転費用の支払額	△23,535	△242,594
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	7,044	△5,905
営業活動によるキャッシュ・フロー	98,979	△638,303
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△68,941	△565,783
有形固定資産の売却による収入	47,961	1,545
投資有価証券の売却及び償還による収入	146,760	7,807
投資事業組合からの分配による収入	2,242	2,304
預り保証金の返還による支出	△136,890	—
無形固定資産の取得による支出	—	△7,884
その他	22,247	8,046
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,379	△553,963
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△165,811	△153,258
長期借入れによる収入	—	30,000
長期借入金の返済による支出	△1,500	—
自己株式の取得による支出	—	△81
その他	△4,125	△4,125
財務活動によるキャッシュ・フロー	△171,437	△127,465
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△59,078	△1,319,732
現金及び現金同等物の期首残高	2,571,441	2,335,573
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,512,362	1,015,841

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

当第2四半期連結会計期間において、当社グループの工場移転等に伴い、新たな情報の入手により、土壌汚染調査費用等に関して会計上の見積りの変更を行いました。この見積りの変更による増加額75,100千円を変更前の資産除去債務残高に加算し、期末日後1年以内に履行が見込まれる額は流動負債へ、それ以外の額は固定負債へ計上しております。

なお、当該見積りの変更により、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失がそれぞれ69,960千円増加しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書に記載した重要な会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定の記載について重要な変更はありません。

(新型コロナウイルス感染症に関するその他の事項)

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、休業を実施したことにより支給した休業手当について、雇用調整助成金の特例措置の適用を受けた助成金の既受給額及び受給見込額を前第2四半期連結累計期間において144,339千円、当第2四半期連結累計期間において36,938千円、販売費及び一般管理費並びに当期製造費用から控除しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	染色加工事業	テキスタイル事業	不動産事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,645,667	1,167,066	15,116	3,827,850	—	3,827,850
その他の収益	3,048	—	145,083	148,131	—	148,131
外部顧客への売上高	2,648,715	1,167,066	160,200	3,975,982	—	3,975,982
セグメント間の内部売上高又は振替高	88,717	2,216	9,180	100,114	△100,114	—
計	2,737,433	1,169,282	169,380	4,076,096	△100,114	3,975,982
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△184,976	3,755	109,206	△72,014	—	△72,014

(注) 1. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく不動産賃貸収入等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	染色加工事業	テキスタイル事業	不動産事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	3,136,995	1,883,910	16,585	5,037,490	—	5,037,490
その他の収益	2,424	—	130,765	133,189	—	133,189
外部顧客への売上高	3,139,419	1,883,910	147,350	5,170,680	—	5,170,680
セグメント間の内部売上高又は振替高	131,064	728	8,664	140,456	△140,456	—
計	3,270,483	1,884,638	156,014	5,311,136	△140,456	5,170,680
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△319,098	71,054	88,203	△159,840	—	△159,840

(注) 1. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく不動産賃貸収入等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません